

		EZ-WIN総合評価シート			23.9.24(日)中山11R G2オールカマー 芝2200m外C 3歳上 別定 15:45																	
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	スパイス血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	ロングスパート実績
10	17	☆	1	1	美)ロングラン	セ5	57	12				B	7,15	7,12	6,7	2	152	2	丹内祐	和田勇		注
21	43		2	2	美)タイトルホルダー	牡5	58	1	B	nt		消	2,16	1,1	1,15	68	131	50	横山和	栗田徹	展	B
8	21	×	2	3	美)アサミノイタズラ	牡5	57	14				BA	16,11	18,2	12,7	2	152	2	嶋田純	手塚貴		
5	21	△	3	4	栗)マテンロウレオ	牡4	57	9	C			BA	9,14	8,7	3,10	12	58	7	横山典	昆貢		A
10	27		3	5	美)アラタ	牡6	57	11	B				12,6	4,2	3,4	8	98	2	田辺裕	和田勇	R	
13	47	▲	4	6	栗)ジェラルディーナ	牝5	56	4	A	nt		B	15,7	香港	11,2	19	80	20	団野大	斉藤崇		A
16	59	○	4	7	栗)ガイアフォース	牡4	57	3	A	nt			9,3	7,2	5,5	24	95	30	西村淳	杉山晴	R	A
17	38		5	8	栗)ゼッフィーロ	牡4	57	7	B			BA	16,1	11,1	7,1	12	62	3	戸崎圭	池江泰	TR	
16	20		5	9	地)チェスナットコート	牡9	57	15	A	米			地方	地方	地方	3	369	0	田中学	田中一		
6	41	★	6	10	栗)エヒト	牡6	57	8	A	nt			4,2	11,7	海外	3	39	7	菅原明	森秀行		A
25	37		6	11	美)ノースブリッジ	牡5	58	5		nt		BA	5,13	4,2	3,13	10	112	7	岩田康	奥村武	展	C
10	31		7	12	美)ハヤヤッコ	牡7	57	13		米		BA	12,4	11,5	11,2	8	98	2	浜中俊	国枝栄		
10	52	×	7	13	美)ローシャムパーク	牡4	57	2	A	nt			9,3	11,3	7,8	40	124	35	C. ル	田中博		B
6	26	注	8	14	栗)マリアエレナ	牝5	55	10		米			3,4	2,10	8,5	0	0	7	三浦皇	吉田		B
5	48	◎	8	15	美)ウインマリリン	牝6	57	6		nt		BA	3,10	DSC	香港	18	117	7	松岡正	手塚貴	R	B

馬場が軽い時期でロングスパート戦が基本になるオールカマーでは、切れる脚よりも、バテずに持続する末脚が重要になります。

その為、米国型血統(スパイス血統欄に「米」印)やダンチヒの血、底力血統の代表格であるノーザンテーストの血(「nt」印)が非常に重要な役割を果たします。

※nt 印の背景色「赤」は米国型血統も持つ馬になります。

特にノーザンテースト持ちは、2021年と2022年は1着から3着独占。2020年1着・3着、2019年1着・2着、と言うように過去4年で10頭が馬券絡み。

また、野芝開催の非根幹距離と言う特殊な条件下で行われる重賞としては、不思議とリピーターが出ておらず、馬場改修工事後の中山で行われた2015年以降、リピートしたのは母系にボールドルーラーを持つ牝馬ウインキートスしかおりません。

今年のメンバーには、同じ条件を満たす馬が出ておりますな。

◎15番ウインマリリン

— 昨年の優勝馬で、祖母の父がボールドルーラー系。

米国型持続力強化血統を母系に持つ馬が非常に馬券に絡みやすいレースですが、今年は該当馬が希少。

しかも父のスクリーンヒーローは、
ノーザンテースト産駒のダイナアクトレス牝系出身ですな。

大外枠に入った事が少し残念ではありますが、
鞍上の松岡Jは、当コースの8枠巧者ですので
まあ、相殺という事で。

★10番エヒトは昨年も穴をあけたルーラーシップ産駒。
持続力勝負が得意な豪州牝系の出身馬で、
持続力を問われる小回りコースの重賞を2勝。
当コースのAJCCでも2着の実績を持っております。

☆1番ロングランは、隠れ非根幹距離牝系の出身。
母ノッテビアンカの全弟トーキョーゴールドは、
イタリアダービー(2200m)の勝ち馬でございますな。

また、曾祖母の父ロミタスは
非根幹距離G1で大活躍したサラキアの母父。
ロミタスの血は、母系から非根幹距離適性を
底上げする効果を持っております。

そして何よりも…

オールカマーのラッキーナンバー「1枠」は
10頭の内6頭が連対しております。

これまで、1800mでは重賞でも大崩れしていないように、
非根幹距離の持続力戦に適性がある事は疑いようがなく、
2200mに延びる事で、まだ見せていない力を開花させる可能性を
感じております。と言うより妄想を拡大中でございます。

馬券

単勝・複勝 1番と15番

ワイドフォーメーション

10・15-1・10・14・15

馬連流し

15-1・3・4・6・7・10・13・14